

第3回勉強会の内容

11月30日(土) 午前に
多聞小学校「丘の子ルーム」、
及び当地区にて開催

まちづくり専門家

●井上赫郎講師との 街歩きと点検マップづくり

街歩き



-主な意見(気になった点)-

【地形】

・坂道が多く、階段のある私道もあり、避難時に支障をきたすと思う。

【オープンスペース】

・思っていたよりも緑が多く、オープンスペースがあったが、これらが少ないエリアもある。

【道】

・避難経路の道標がわかりづらい。

・傾いている電柱が心配だった。

【建物】

・建替えをしないで、空き家のままとなっている建物が多かった。

【防災設備】

・井戸が少ないので、災害時のための水源の確保が必要だと思った。

・広域避難場所等の活用、PRを推進すべき。

・消火栓がどこにあるかが一般の住民にもわかるようにしてほしい。

点検マップづくり



第4回勉強会にて、
点検マップを整理したものを
報告します！

講師からのアドバイス①：都市計画道路整備をきっかけとした街づくり

当地区は全体的に道幅が狭く、地形の高低差があるため、建替えが困難な敷地に老朽化した建物も多い。このような複雑な地形である当地区に、幅員20mの都市計画道路が整備されることは、沿道、及び後背地が抱えている課題を克服するきっかけになると思われる。

講師からのアドバイス②：小規模敷地における建替え問題への検討

小規模な敷地に木造3階建ての住宅が立ち並び始めている。1階部分を掘り下げてガレージにしているところは、豪雨時に雨水が溜まらないか心配である。このような、小規模敷地における建替えに伴う新たな課題の改善も大切である。

講師からのアドバイス③：良好な地域コミュニティの発展

街歩きに参加されている方が、すれ違う地域の方々と挨拶されているのを見て、地域コミュニティが良好であると感じた。一方で、大規模マンションも年々増加しているので、新旧住民が力を合わせ、地域の防災活動など街づくりの担い手が多くなることを期待したい。

この通信は対象区域にお住まいの方・土地建物所有者の方に世田谷区からお届けしています。

■お問い合わせ先

世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課 〒154-8504 東京都世田谷区世田谷 4-22-33
電話：03-5432-2872(直通) FAX：03-5432-3055 (担当：二見・小出・内田・島津)

～世田谷区からのお知らせ～

池尻四丁目(24～39番)・三宿二丁目

◆平成26年2月号◆



街づくり通信

【発行】世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課

世田谷区では、木造住宅が密集している地区である「池尻四丁目(24～39番)・三宿二丁目の区域」において、災害に強い街づくりへの取り組みを進めています。今年度は、地区街づくり計画等の検討に向けて、テーマごとに講師を招き、講演等をしていただく勉強会を開催しています。第4回目は以下のとおり開催します。是非ご参加ください。

第4回勉強会のお知らせ

【日時】

2月21日(金) 午後7時～8時30分
(1時間半程度を予定)

【当日の内容】

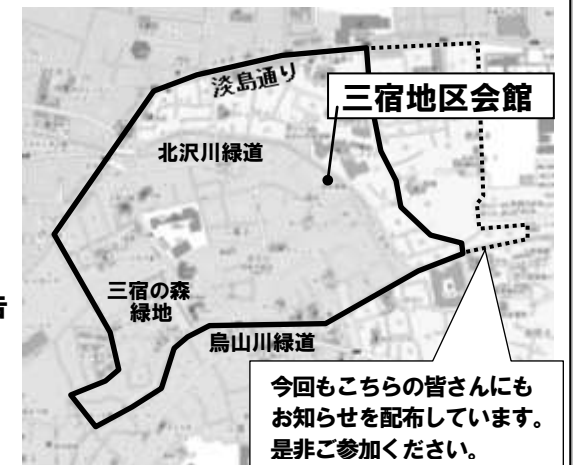
講演：「**専門家が見たこの街！！**
この街の将来像とは？！」

- アンケート調査結果と街の点検マップの報告
- 街の課題の整理
- 街づくりの方向性について

【会場】三宿地区会館 2階「大会議室」

【住所】世田谷区三宿2-7-10

※上履きをお持ちの方はご用意ください。



□：災害に強い街づくりに取り組む区域
(池尻四丁目24～39番、三宿二丁目)

今回もこちらの皆さんにも
お知らせを配布しています。
是非ご参加ください。



講師：まちづくり専門家
いのうえかくろう
井上 赫郎氏

太子堂2・3丁目、三宿1丁目
地区をはじめ各地の住民参加の
まちづくりで住民とともに考え
行動することをめざす専門家

講師より一言

「今回は今年度取り組んだ勉強会や街歩き、調査結果に基づいて、皆さんとともにまちの課題やこれからのまちのあり方について、意見交換を行い、まとめをしたいと思います」



“防災食品の試食”も予定しています！



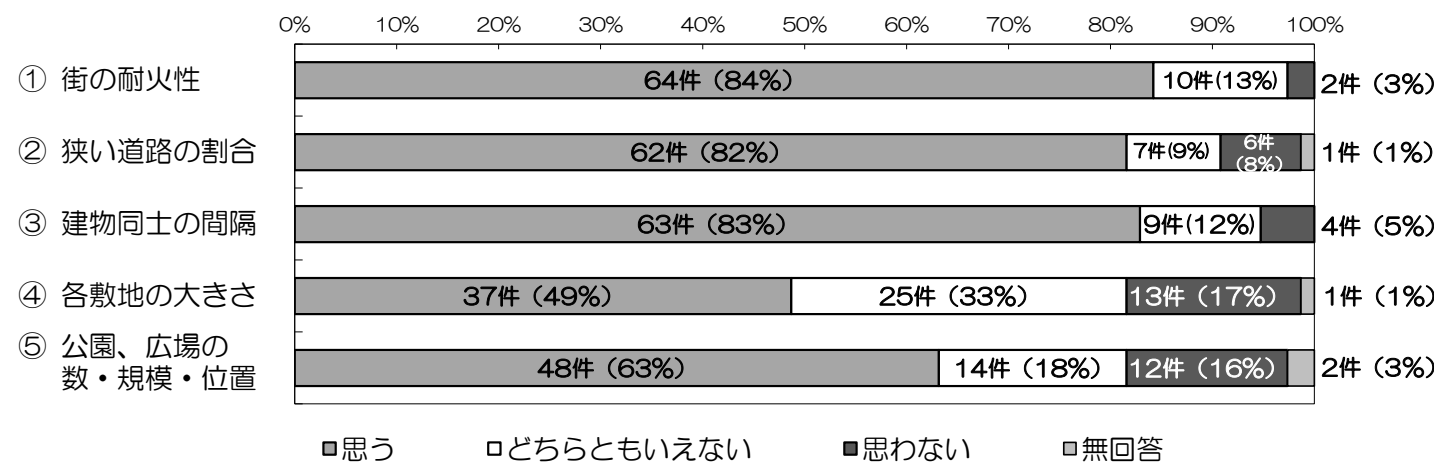
「地区街づくり計画の検討へ向けた」アンケート調査結果

アンケート調査にご協力頂きましてありがとうございます。

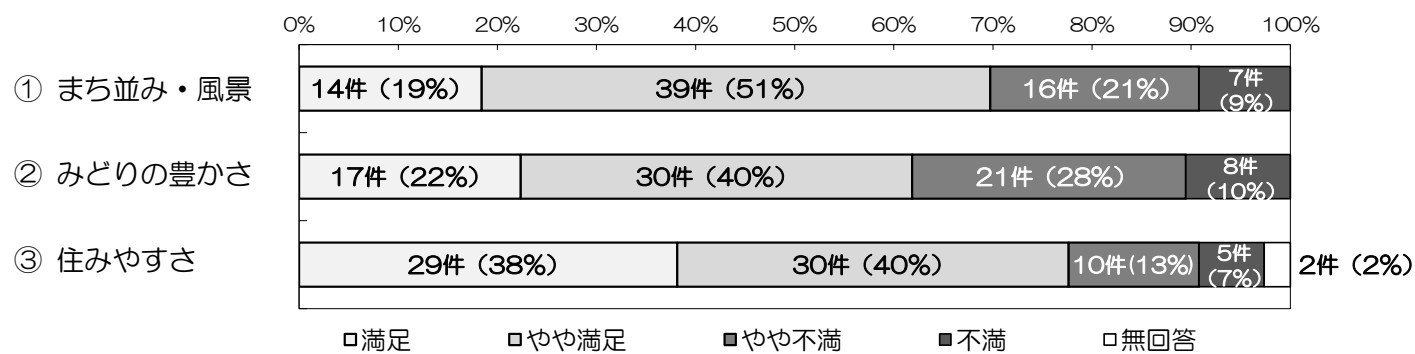
住みやすさへの満足度は比較的高かったのですが、街の耐火性や狭い道路の割合、建物同士の間隔、みどりの豊かさなどにおいて課題／満足していないという回答が多くありました。

【実施主体】世田谷区 世田谷総合支所 街づくり課
 【対象】池尻四丁目（8の一部・9～39番）・三宿二丁目の居住者、及び土地・建物の所有者の方
 【実施時期】平成25年11月20日～12月31日
 【方法】アンケート用紙配布：全戸配布、郵送（区域外にお住まいの土地・建物の所有者の方）
 回答回収：郵送、ファクシミリ、街づくり課窓口受付
 【回収結果】配布数 5,474 票、回収数 76 票（回収率 1.4%）

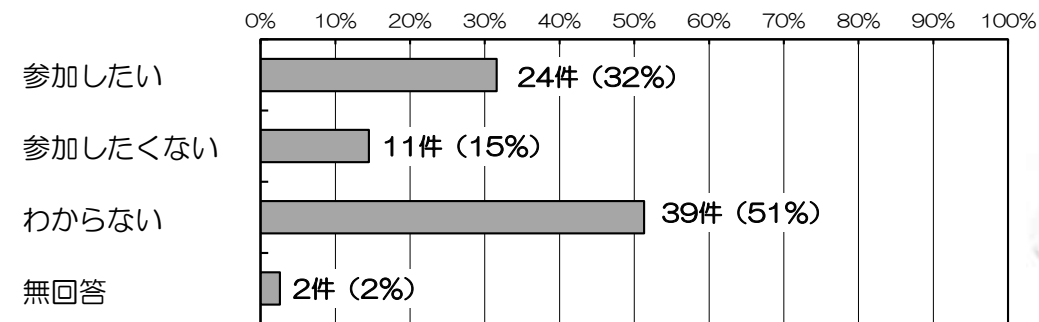
【設問1】 普段の生活において以下の項目について課題だと思いませんか？



【設問2】 この街について、以下の項目はどの程度満足していますか？



【設問3】 地区街づくり計画・地区計画によるルールの話合いがあれば参加しますか？



【設問4】 街づくり等についてのご意見 ※主なご意見を紹介します。

【建物】

- 建替えや相続によって敷地が細分化されていくことを防げると良い。
- 空き家が減少するよう、行政からの支援メニューがあると良い。

【公園・緑】

- 孫子の代のためにも公園は多い方が良い。
- 道路整備に伴って公園が少なくなることは避けてほしい。

【防災活動】

- マンションに居住しているが、被災時の各戸への連絡体制が心配である。
- 木造住宅が密集しているため、住民の防災意識を高めることが大切。
- 井戸等の場所をわかりやすく表記してほしい。

【補助 26 号線整備】

- 整備の際には、植栽など緑を多くしてほしい。
- 早期の整備を望んでいる。

【補助 26 号線以外の道路】

- 狭い道路は消防車も入りやすく危険である。
- 狭い道路や行き止まり路の解消を図ってほしい。
- 多聞小学校西側の南北道路など、246 号線から淡島通りへ通り抜けができる道路は、交通量が大きく危険なので改善してほしい。
- 生活道路は、歩道を広くしてほしい。

【その他】

- 子育てしやすい街になってほしい。
- 明るい街灯の設置など防犯も大切。
- 地区内にも生鮮食品などが買えるスーパーがあると便利。

「災害に強い街づくり」の検討の予定: 今後、当地区の将来像やその実現方策について意見交換をしていきます。是非ご参加ください!

